

05

SMART PRODUCT 2023

サトウキビの搾りかす バガスをアップサイクルした バガスうちわ・扇子

製品の特徴

うちわ及び扇子の紙部分に、サトウキビの搾りかすである「バガス」を一部原材料とした紙を使用しています。当社が使用するバガスは未だ活用法が確立していない未利用資源であり、本来は焼却もしくは廃棄されている状態にあります。

バガスは焼却されると、吸収したCO₂を大気中に放出するが、バガスを原材料に紙をつくることにより、吸収しているCO₂を留めることができるため、カーボンマイナスにつながります。



製品が誕生した背景

伝統工芸品は比較的高価になるものの、質やデザイン性に富んでおり、一度手に取ると長く愛用されること、天然素材をメインに使って作られることから、環境にやさしい産業です。

そのため、当社が開発したアップサイクル素材と伝統工芸を組み合わせることで、より環境にやさしいものづくりができると考えました。

そこで、京都の伝統工芸を長年にわたって発信されている、小丸屋住井様、京風庵大むら様とのコラボレーションに至りました。

こんな時に活用できます！

それぞれ京都で長年わたって愛されている伝統工芸品であり、職人の手仕事によって一点一点丁寧に作られているため、長く愛用いただける商品です。

扇子には「うつし香」が施されており、扇ぐと涼しい風とともにお香の香りを楽しむことができます。

Curelabo 株式会社

〒606-8307 京都市左京区吉田上阿達町17

TEL 075-606-4350

FAX —

URL <https://curelabo.co.jp>

EMAIL info@curelabo.co.jp

当社は製糖工程で発生するサトウキビの搾りかす「バガス」をはじめとした未利用残渣をアップサイクルしたモノづくりを行っています。有効利用されずに廃棄されている資源を再資源化することでサーキュラーエコノミーの構築を目指します。